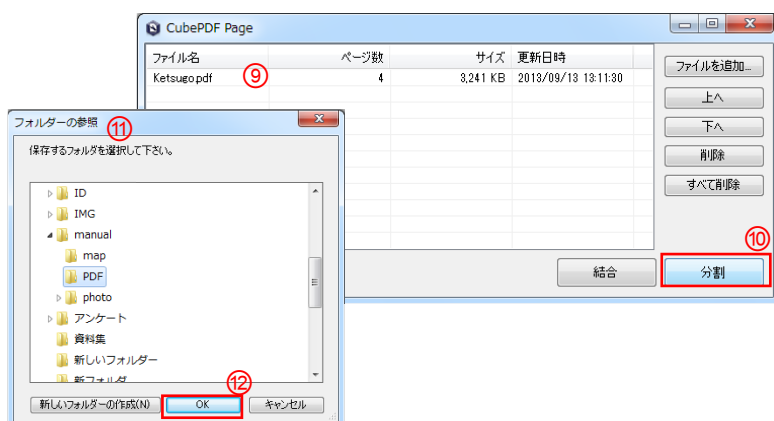
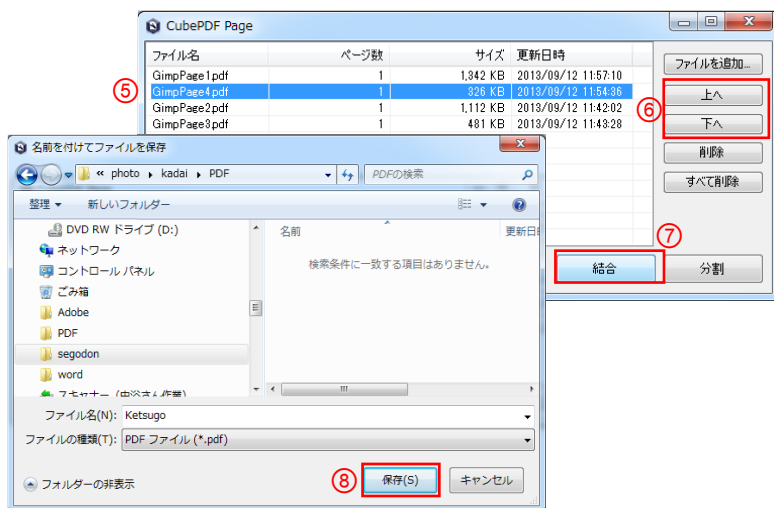
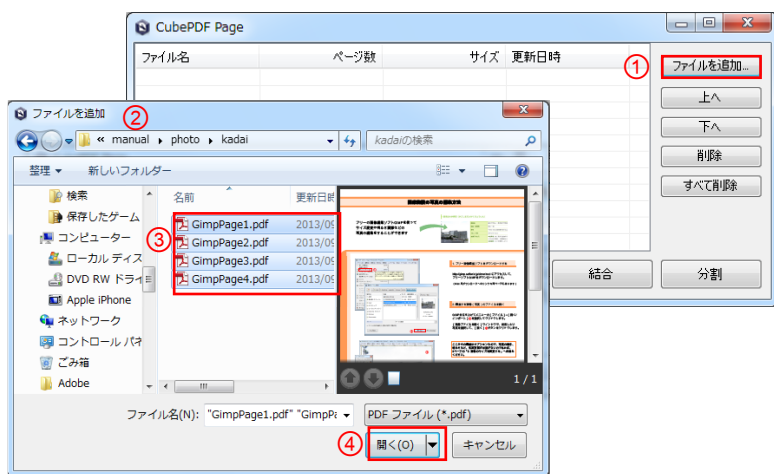


PDF資料の編集方法

「せごどん」では資料/会員編集ページでPDFファイルをアップロードして閲覧可能にすることができるので Adobe Acrobat などの編集ソフトがない場合のためにフリーソフトを使ってできるPDFファイルの編集方法をご紹介します。



PDFファイルの結合・分割



1. PDF分割・結合用編集フリーソフトのダウンロード

複数のPDFファイルを結合して一つにまとめたり、あるいは結合されてるPDFファイルを分割する場合には専用のソフトが必要です。

ここでは、フリーソフト CubePDF Page の使い方をご案内します。まず、<http://www.cube-soft.jp/cubelab/> にアクセスし、CubePDF Page をダウンロードして、立ち上げます。

※動作可能OS: Windows XP / VISTA / 7 / 8

2. PDFファイルの結合

[ファイルを追加] ボタン①をクリックすると、[ファイルを追加] ボックス②が出てくるので、統合させたいPDFファイルを選択③し、[開く] ボタン④をクリックします。

※ [ファイルを追加] ボタンを使わずに、エクスプローラーによるウィンドウからファイルを複数選択し、CubePDFPage のボックス内へのドラッグ&ドロップで、一括読み込みをすることも可能です。

ページの順序を変えたいときは、ファイルを選択⑤して[上へ]または[下へ]ボタン⑥をクリックして順序を移動させます。

※ 選択したファイル⑤をマウスでドラッグして順序を変えることも可能です。

[結合] ボタン⑦をクリックして、保存フォルダを指定後、[保存] ボタン⑧をクリックすると結合されたファイルが保存されます。

3. PDFファイルの分割

上記の方法で、分割したいファイルをリストに表示させて、[分割] ボタン⑩をクリックします。

[フォルダーの参照] ボックス⑪が出てくるので、保存するフォルダを指定してから [OK] ボタン⑫をクリックすると、ページごとに分割されたPDFファイルが枝番のついたファイル名で自動的に保存されます。

1. PDF軽量化出力用フリーソフトのダウンロード

「せごどん」では、一医療機関が登録できる容量が20MB(メガバイト)となっており、登録したいPDF資料のファイルサイズがそれ以上だとアップロードできない可能性があります。その場合は、PDFファイルを軽量化することができます。

ここではPDF軽量化用フリーソフト PrimoPDF をご紹介しますので、
<http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/writing/se436494.html>
 からソフトをダウンロードして、PrimoPDFをインストールします。

※Macには対応していません。

2. PDFを軽量化して出力

ここでは、PDFファイルをAdobe Readerで開いて説明しますが、Internet Explorer などのブラウザで開いても同様に作業できます。

軽量化したいPDFファイルを開いて、[ファイル]をクリックし、[印刷]①を選択クリックすると[印刷]ダイアログボックス②が出てくるので、プリンターのプルダウンボタン▼③をクリックしてPrimoPDFを選択します。

印刷領域の不具合をなくすために、[PDFのページサイズに合わせて用紙を選択]のチェックボックス④にチェックを入れ、プレビュー画面⑤で印刷領域を確認してください。その後、[印刷]ボタン⑥をクリックすると、印刷の進行状況を示すボックス⑦が表示されます。

終了すると代わってPrimoPDFのダイアログボックス⑧が表示されるので、軽量化するのに最適な[eBook]⑩を選択し、ファイル保存先のボタン[...]⑪をクリックします。

[名前を付けて保存]ダイアログボックス⑫で、保存先フォルダと新しいファイル名を指定して[保存]ボタン⑬をクリックします。

その後、PrimoPDFのダイアログボックス⑬に戻り、[PDFの作成]ボタン⑭をクリックします。

この例で保存先フォルダを見てみると、28,832KB(28.832MB)だったデータが、1,440KB(1.44MB)に軽量化されて保存されたことが確認できました⑮。

※保存する際に(ファイル名.log)というファイルも同時に作成されます。トラブルが起きたときの解析用のものなので削除しても構いません。PrimoPDFのダイアログボックス⑧の[オプション]⑯をクリック→[アドバンスド]をクリック→[変換ログの保存]のチェックを外す→[OK]ボタンをクリックする、という工程で、最初からlogファイルが作成しないように設定することもできます。

